

技術指導申請書 (日本語)

기술지도 신청서 (일본어)

申請番号: KJC-2026-0086

☑ 翻訳者: 관리자 (admin)

📅 完了日: 2026-09-29 18:59:03

企業概要	企業名 (英文)	NEXCON Technology		
	所在地	忠清南道(춘천충남・도)天安市(천안시・시)		
	業種	☐ 機械 / 重工業 (工作機械、産業機械、建設機械、プラント設備) ☐ 金属 / 素材 (鉄鋼、非鉄金属、合金、新素材[炭素繊維、セラミックス等]) ☒ 電気 / 電子 / IT (半導体、ディスプレイ、電子部品、通信機器、電子機器) ☐ 自動車 / 輸送機器 (完成車、自動車部品、鉄道・航空・船舶部品) ☐ 化学 / 石油化学 (精密化学、高分子・プラスチック、合成樹脂、機能性素材) ☐ エネルギー / 環境 (二次電池[バッテリー]、水素、新エネルギー、環境設備) ☐ 食品 / 生活用品 (加工食品、飲料、消費財生産) ☐ 繊維 / ファッション (一般繊維、機能性繊維、衣料製造) ☐ バイオ / 医療 (医薬品、バイオ素材、医療機器、ヘルスケア) ☐ その他		
	設立年度	1996年	従業員数	800名
	主な生産品	電子機器_ESS用BMS・自動車部品他		
	ホームページ	http://www.nexcontech.com		

技術指導 申請情報	指導希望期間	2027年 1月 ~ 3月 (3ヶ月)		
	指導方法	☒ オフライン (訪韓指導) : 日本の技術者を企業の製造現場に招待して指導を受ける形式 ☐ オンライン (遠隔画像指導) : Zoom、Teams、Google Meetなどのビデオ会議プラットフォームを活用して指導を受ける形式 ☐ オン+オフライン並行指導		

	指導希望内容	1) SMT工程および後工程における不良改善 ・設備・管理部分の改善
		2) SMT工程における生産性向上 ・生産性の観点から緊急に改善が必要な項目 ・運用面からの改善
		3) 管理面における改善 ・製造管理に対する基礎固め
	技術指導希望分野	☐ 研究開発（新製品 / 新技術研究、新素材開発、プロトタイプ製作） ☐ 設計（製品設計[CAD/CAE]、回路設計、金型 / 治工具設計） ☒ 生産技術（工程設計、生産ライン構築、生産性向上、自動化推進） ☒ 製造（加工、組立、成形、溶接、組立ライン運営） ☐ 品質（品質検査、不良分析、ISO / KS認証対応、品質改善活動） ☒ 設備 / 保全（生産設備点検、故障対応、予知保全、ロボット / 自動化設備管理） ☒ 生産管理（生産計画立案、資材所要量管理[MRP]、原価 / 納期管理） ☐ 購買 / 資材調達（原材料購買、協力会社管理、サプライチェーン管理） ☐ 物流 / 在庫（原材料入出庫、製品出荷、物流自動化） ☐ 安全 / 環境（労働安全管理、環境規制対応、ESG経営支援） ☐ 市場調査（産業動向、競合分析、新技術トレンド調査） ☐ その他
	悩み技術 製品写真	☒ 製品名: Battery [バッテリー保護回路 Pack & ESS.PNG] ☒ 製品名: Automotive

申請の きっかけ	技術指導事業申請のきっかけ
当社は1996年に創立し、バッテリーおよびAutomotive EMS分野で30年の経験を有する業界の先導企業です。顧客の多角化および海外生産拠点の拡大を進めるとともに、生産品目の多様化にも継続的に取り組んできました。 従来のIT分野においては、PCM/BMS/PACK製品群を中心に事業を展開してきましたが、2020年を契機に現代・起亜自動車のSQ認証を取得し、自動車電装分野へも事業領域を拡大しています。現在は事業規模および売上高を拡大している段階にあります。 国内の主要顧客としては、SDI向けESS BMSおよびPower Tool製品を供給しています。また、電装製品については、Yura、LG Energy Solution、Hyundai Kefico、Samsung Electro-Mechanics、Kyungshin CDMなど、さまざまな自動車電装関連企業への製品供給を順次拡大してきました。各顧客に対する工程監査への対応および量産対応を進めながら、生産製品群を拡大してきた実績があります。 現在の課題として、顧客および生産品目の多角化によって売上を伸ばすことができた一方、対応すべき業務が増加し、人的リソースを顧客ごとに効率的に配分することが難しくなっています。その結果、一	

部の中核人材の離職も発生しています。

さらに、これらすべての製品群において、当社の主要な初工程はSMT（表面実装）工程ですが、専門性を持つ人材（製造運営・技術部門）の離職が加速しており、現在、設備総合効率およびSMTラインごとの稼働率の向上が急務となっています。

そのため、設備の基本的な運用、生産性向上、SMT工程における製造管理の基礎など、基本に立ち返った改善を行い、従業員の意識・行動を変えていく必要があります。

また、今回の技術指導はSMT工程だけを対象とするものではなく、後工程（Selective Soldering、Conformal Coating、機能検査など）の主要工程についても、生産性向上を図るため、指導範囲を拡大したいと考えています。

期待効果	日本技術者指導の必要性および期待効果
	1. SMT工程の設備運用面 機種切替えに要する時間を短縮し、設備の稼働率を向上させるための技術指導を受けたいと考えています。 2. SMT工程の不良改善 主要なWorst発生不良について、原因分析および改善活動を行い、材料ロスの最小化および不要な消耗品コストの削減につなげるための技術指導を受けたいと考えています。 3. SMT主要設備の管理強化 SPI、AOI、ICT、Mounter、Reflowなどの主要設備について、設備管理、設備セットアップ、設定時の主要パラメータ管理など、基本的な管理方法を強化したいと考えています。 4. 後工程における生産性向上 生産プロセスの観点から、適正在庫および適正人員の設定・配置について、より適切な運用方法を確認するための技術指導を受けたいと考えています。 5. 主要後工程の改善 特にSelective Soldering、Conformal Coating、機能検査工程における非効率・不合理な部分を改善し、組み立て工程上の改善についても技術指導を受けたいです。